第 15 講　準動詞総合

ポイント

【1】　準動詞の主語・否定形・完了形・受動態
【2】　準動詞を目的語に取る動詞
【3】　準動詞の慣用表現

＊この講は，9 講から 14 講まで続いた英文法の最重要分野である準動詞（不定詞・動名詞・分詞）の知識定着と＋αの授業をねらいとしたものです。必ず，自分の手を動かして，予習の際に空白を埋めてきてください。

ポイント【1】準動詞の主語・否定形・完了形・受動態

●準動詞の主語

① 不定詞　⇒　(　　　　　　　　　　　　　)

② 動名詞　⇒　(　　　　　　　　　　　　　)

③ 分詞構文　⇒　(　　　　　　　　　　　　　)

●準動詞の否定形

① 不定詞　⇒　(　　　　　　　　　　　　　)

② 動名詞　⇒　(　　　　　　　　　　　　　)

③ 分詞構文　⇒　(　　　　　　　　　　　　　)

●準動詞の完了形

① 不定詞　⇒　(　　　　　　　　　　　　　)

② 動名詞　⇒　(　　　　　　　　　　　　　)

③ 分詞構文　⇒　(　　　　　　　　　　　　　)

●準動詞の受動態

① 不定詞	⇒	（　　　　　　　　　　　　　　　　）
② 動名詞	⇒	（　　　　　　　　　　　　　　　　）
③ 分詞構文	⇒	（　　　　　　　　　　　　　　　　）

●不定詞の主語について

It is 形容詞 for S to do ～ . の構文で，形容詞に人の性格を示す形容詞が来たら，of S にする？

↓この二文を比較

It is impossible for you to do such a thing.

It is kind [of] you to do such a thing.

<u>人の性格を示す形容詞</u>

kind（親切な），nice（素敵な），wise（賢明な）

foolish（馬鹿な），stupid（愚かな），careless（不注意な）

■問題演習

＊次の英文の空欄に最も合うものを①～④から一つずつ選びなさい。

1. He is ashamed of（　　）.

① his family not being rich　　② not his family being rich

③ his family is not rich　　④ his family being not rich

2. The snow（　　）to fall, we took a bus to the station.

① beginning　② begins　③ has begun　④ was begun

3. （　　）no buses, I had to walk home.

① It having been　　② Being

③ It being　　④ There being

復習テスト　　第 15 講【1】

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I’m proud of (　　　) a professional athlete.
　① my aunt to be　　② my aunt is
　③ my aunt being　　④ my aunt to being

2. (　　　) able to play musical instruments, he joined the band as a dancer.
　① Being not　　② Not being　　③ Not to be　　④ To be not

3. My older sister has a fever now. She appears (　　　) a cold.
　① being caught　　② having caught
　③ to be caught　　④ to have caught

4. (　　　) white, the wall looks brighter than before.
　① To paint　　② To be painted　　③ Painting　　④ Painted

5. It is careless (　　　) break his favorite coffee mug.
　① of him to　　② of him not to　　③ for him to　　④ for him not to

NOTE

第 15 講　解答

ポイント【1】問題演習の解答

1. ①　彼は家族が裕福ではないことを恥じている。
2. ①　雪が降り始めたので，私達は駅までバスに乗った。
3. ④　バスがなかったので，家まで歩いて帰らなければならなかった。

ポイント【2】問題演習の解答

1. ④　ここに私があなたに買うと約束したペンがある。
2. ③　彼女は家を出て，イタリアに行って，愛を見つけることを願った。
3. ④　どうか家に帰る途中，この手紙を出すのを忘れないで。
4. ③　母への手紙を書き終えましたか？
5. ③　彼女は昔の彼氏に会うのを避けようとした。

ポイント【3】問題演習の解答

1. ④　私は本当にいつか再びそこに行くのが楽しみだ。
2. ④　私は海外旅行するのに慣れている。
3. ①　私達は彼らのオファーを受け入れざるを得なかった。
4. ③　あなたは両親への手紙を書くのを延期すべきではない。
5. **without**　言うまでもないが，健康は富に勝る。

復習テスト（解答）　　第 15 講【1】

1. ③ I’m proud of (**my aunt being**) a professional athlete.
私は，おばがプロのアスリートであることを誇りに思っている。

解説：
前置詞 of の後ろなので，空所には動名詞が入る。
動名詞の意味上の主語である my aunt の直後に動名詞 being を続けた my aunt being が正解。

2. ② (**Not being**) able to play musical instruments, he joined the band as a dancer.
楽器が弾けなかったので，彼はダンサーとしてバンドに加入した。

解説：
Not being を入れて not を含む分詞構文にすると文意が通る。not の位置に注意。

3. ④ My older sister has a fever now. She appears (**to have caught**) a cold.
姉は今，熱がある。彼女は風邪をひいたようだ。

解説：
appear to do で「～するように思える」の意味。
「彼女（＝姉）が風邪に罹患した」のが本動詞 appears よりも以前のことであることを表す，
完了不定詞 to have p.p. の to have caught が正解。

4. ④ (**Painted**) white, the wall looks brighter than before.
白く塗られたので，その壁は以前より明るく見える。

解説：
Painted を入れて受動態の分詞構文にすると文意が通る。Being painted の Being が省略されている。

5. ① It is careless (**of him to**) break his favorite coffee mug.
自分のお気に入りのコーヒーマグカップを割ってしまうなんて，彼は不注意だ。

解説：
人の性格を示す形容詞 careless「不注意な」があることに着目。
of him to を入れて，〈It is ＋形容詞＋ of S to do ～ .〉「S が～するとは…だ」の形にする。